

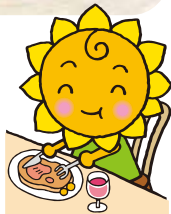
第73回 施設従事者激励会盛會に終わる

長年福祉の現場でご活躍されている方々を慰労する施設従事者激励会は、10月25日(水) 弁天町のアートホテル大阪ベイタワーで開催いたしました。

1部式典では、主催者挨拶に引き続き、来賓の大阪府・大阪市代表から参加された方々への挨拶の後、この事業に後援をいただきました団体(下記表のとおり)をご紹介します。

そして、大阪府知事・大阪市長・堺市長の祝電が披露され、式典を終了しました。

2部会食については、洋食ランチコースを各テーブルを囲んで堪能していただきました。



[後援団体]			[来賓]	
大	阪	府	福祉部地域福祉推進室 福祉人材・法人指導課 課長	手嶋 渉 様
大	阪	市	福祉局総務部 法人監理担当 課長	大谷 省吾 様
堺	市			
大阪府社会福祉協議会			常務理事	田中 進 様
大阪府社会福祉協議会			経営者部会長	大西 豊美 様
大阪市社会福祉協議会			常務理事	吉村 浩 様
堺市社会福祉協議会				
朝日新聞厚生文化事業団				
産経新聞厚生文化事業団			専務理事	森脇 睦郎 様
毎日新聞大阪社会事業団				
[協 力]				
大阪府社会福祉協議会従事者部会				

北長野の森便り 3通目

今季は暖冬だと言われていますが、そんな年こそ雪国ではドカ雪が降ることがあるそうで、北信州の人たちは今年も降雪前の準備を入念にしています。その中に雪囲い(冬囲い)と呼ばれる作業があり、窓を木の板で囲ったり、果樹や植木を木材や縄で囲ったりします。私がこちらに移住した年の冬、雪囲いというものを知らなかったために、我が家の植木のいくつかは雪の重みでボキッと折れてしまいました。見つけたときはかわいそうなことをしたと悲しくなりましたが、縄で支えてあげたら今も元気に生きています。



さて、森に入ると植物も雪の季節を乗り越える準備をしています。肉厚な葉っぱにたっぷり栄養を溜め込んでいるものもあれば、ふわふわのコートのような冬芽をつけているものも。森の木々はもちろん人工の雪囲いはしてもらえないのですが、折れることなく冬を越えるものが大半です。地につくほど枝が曲がっても春になると元に戻っている、しなやかさとたくましさには驚かされます。植物がそれぞれにサバイバル術を持っていることがわかりやすい冬の森には、別の季節とは違う楽しみが散らばっているのです。



信濃町の森林セラピー体験チケットはふるさと納税の返礼品になっています。今年のふるさと納税がまだの方はぜひご検討ください。最後は宣伝で失礼しました。皆さまどうぞよいお年を。

(よしし)